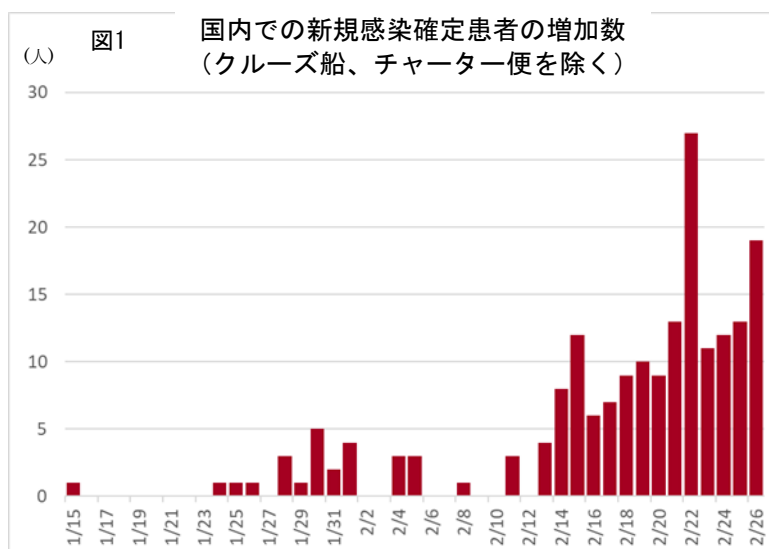


中国で発生した新型コロナウイルス(2019-nCoV)について (第7報)

新型コロナウイルス感染症については、日本でも2/13の和歌山での症例以降、各地で疫学的リンクが追えない感染例が多数出現しており、国内感染期へ移行したと考えられます(図1)。東京や北海道では患者の集積(クラスター)がみられており、これが急激な患者増加の原因となっていると言われています。

これまでの国内発症例を見ると未成年は少ないもの、各年代に発症者がいることがわかります(図2)。これまでの報告でも各年齢層に患者発生が確認されており、患者の年齢や症状だけでCOVID-19の鑑別をするのは困難であるといえます。

新型コロナウイルスのPCR検査については、保健所経由で実施する行政検査以外に院内でのPCR検査も開始しました。当院では検査可能数は限られますがPCR検査の実施が院内で可能ですので、COVID-19疑いの患者さんがいらっしゃったら、感染制御部までご相談ください。



医療機関でCOVID-19対策として現在できることは、院内でのアウトブレイクを起こさないように医療者、患者の双方を感染から守ることです。それには標準予防策に加えて飛沫および接触感染対策をきちんと実施する必要があります。もう一度基本に立ち返って手指衛生の重要性を再確認しましょう。

